

月例経済報告（2022年10月）

● 月例経済報告（10/25）

<p>基調判断</p>	<p>(10月) 景気は、緩やかに持ち直している。 ウイズコロナの新たな段階への移行が進められる中、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。</p> <p>(9月) 景気は、緩やかに持ち直している。 ウイズコロナの新たな段階への移行が進められる中、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。</p>
<p>個人消費</p>	<p>(10月) 緩やかに持ち直している。</p> <p>(9月) 緩やかに持ち直している。</p> <div data-bbox="662 521 1388 929"> <p style="text-align: center;">消費総合指数と実質総雇用者所得</p> </div>
<p>設備投資</p>	<p>(10月) 持ち直している。</p> <p>(9月) 持ち直しの動きがみられる。</p> <div data-bbox="662 929 1388 1337"> <p style="text-align: center;">製造業・非製造業の設備投資(名目額)</p> </div>
<p>住宅建設</p>	<p>(10月) 底堅い動きとなっている。</p> <p>(9月) 底堅い動きとなっている。</p> <div data-bbox="662 1337 1388 1744"> <p style="text-align: center;">住宅着工戸数(季節調整値)</p> </div>
<p>雇用情勢</p>	<p>(10月) 持ち直している。</p> <p>(9月) 持ち直している。</p> <div data-bbox="662 1744 1388 2136"> <p style="text-align: center;">雇用者数、就業者数の推移</p> </div>

<p>生産</p>	<p>(10月) 持ち直しの動きがみられる。</p> <p>(9月) 持ち直しの動きがみられる。</p>	<p>鉱工業生産・出荷・在庫・在庫率の推移</p>																				
<p>輸出</p>	<p>(10月) おおむね横ばいとなっている。</p> <p>(9月) おおむね横ばいとなっている。</p>	<p>地域別輸出入数量指数</p> <p>①輸出</p> <table border="1"> <tr> <td>全体</td> <td>9月</td> <td>+0.1%</td> <td>3MA</td> <td>▲0.9%</td> </tr> <tr> <td>アジア</td> <td>9月</td> <td>+1.3%</td> <td>3MA</td> <td>▲1.5%</td> </tr> <tr> <td>アメリカ</td> <td>9月</td> <td>▲7.3%</td> <td>3MA</td> <td>+0.3%</td> </tr> <tr> <td>EU</td> <td>9月</td> <td>+7.4%</td> <td>3MA</td> <td>▲0.8%</td> </tr> </table>	全体	9月	+0.1%	3MA	▲0.9%	アジア	9月	+1.3%	3MA	▲1.5%	アメリカ	9月	▲7.3%	3MA	+0.3%	EU	9月	+7.4%	3MA	▲0.8%
全体	9月	+0.1%	3MA	▲0.9%																		
アジア	9月	+1.3%	3MA	▲1.5%																		
アメリカ	9月	▲7.3%	3MA	+0.3%																		
EU	9月	+7.4%	3MA	▲0.8%																		
<p>国内企業物価</p>	<p>(10月) 上昇している。</p> <p>(9月) 上昇している。</p>	<p>企業物価の推移</p>																				
<p>消費者物価</p>	<p>(10月) 上昇している。</p> <p>(9月) 上昇している。</p>	<p>消費者物価の推移</p>																				
<p>海外経済</p>	<p>(10月) 世界の景気は、緩やかな持ち直しが続いている。 先行きについては、緩やかな持ち直しが続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めが進む中での金融資本市場の変動や物価上昇、供給面での制約等による下振れリスクの高まりに留意する必要がある。</p> <p>(9月) 世界の景気は、緩やかな持ち直しが続いている。 先行きについては、緩やかな持ち直しが続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めが進む中での金融資本市場の変動や物価上昇、供給面での制約等による下振れリスクの高まりに留意する必要がある。</p>																					